【婚姻届】日本人同士が日本の方式によって婚姻する場合

〈記入例〉

婚　姻　届

令和 6 年 1 月 4 日 届出

在オランダ日本国 大使 ~~総領事~~ 殿

受理 令和 年 月 日 第 号						
送付 令和 年 月 日 第 号						
書類調査	戸籍記載	記載調査	調査票	附票	住民票	通知

公館印

郵送で届出る場合は投函日を、来館の場合は来館日を記入してください。

婚姻前の氏をご記入ください。

和暦でご記入ください。

戸籍謄本のとおり、〇丁目〇番地、枝番までご記入ください。

国勢調査は2025年、2030年、2035年に予定されています。

届出書に不備等がある場合、ご連絡を差し上げますので、電話番号及びEメールアドレスをご記入ください。

	夫になる人		妻になる人	
（よみかた）	こうの	じろう	おつの	さちこ
氏名	氏 甲野	名 次郎	氏 乙野	名 幸子
生年月日	昭和 59 年 9 月 7 日		昭和 62 年 10 月 2 日	
住所	オランダ王国アムステルダム市 カルファーストラート20 世帯主の氏名 甲野　次郎		同左 世帯主の氏名 同左	
本籍 （外国人のときは国籍だけを書いてください）	静岡県静岡市紺野町一丁目 3 ~~番地~~ 番 1 筆頭者の氏名 甲野　浩一		神奈川県横浜市西区幸町三丁目 3 番地 ~~番~~ 筆頭者の氏名 乙野　勝	
父母及び養父母の氏名 父母との続き柄 （右記の養父母以外にも養父母がいる場合にはその他の欄に書いてください）	父 甲野　浩一 母 正子	続き柄 二男	父 乙野　勝 母 美枝	続き柄 長女
	養父 養母	続き柄 養子	養父 養母	続き柄 養女
婚姻後の夫婦の氏・新しい本籍	☑夫の氏 □妻の氏	新本籍（左の☑の氏の人がすでに戸籍の筆頭者となっているときは書かないでください） 静岡県静岡市追手町三丁目1 番地 ~~番~~ 2		
(5) 同居を始めたとき	令和 2 年 10 月	（結婚式をあげたとき、または、同居を始めたときのうち早いほうを書いてください）		
(6) 初婚・再婚の別	□初婚 再婚（□死別 ☑離別 平成 20 年 10 月 5 日）		☑初婚 再婚（□死別 □離別 年 月 日）	

同居を始める前の夫婦のそれぞれの世帯のおもな仕事と

- 夫 □ 妻 □ 1. 農業だけまたは農業とその他の仕事を持っている世帯
- 夫 □ 妻 □ 2. 自由業・商工業・サービス業等を個人で経営している世帯
- 夫 □ 妻 □ 3. 企業・個人商店等（官公庁は除く）の常用勤労者世帯で勤め先の従業者数が1人から99人までの世帯（日々または1年未満の契約の雇用者は5）
- 夫 ☑ 妻 □ 4. 3にあてはまらない常用勤務者世帯及び会社団体の役員の世帯（日々または1年未満の契約の雇用者は5）
- 夫 □ 妻 □ 5. 1から4にあてはまらないその他の仕事をしている者のいる世帯
- 夫 □ 妻 ☑ 6. 仕事をしている者のいない世帯

夫婦の職業（国勢調査の年…　年…の4月1日から翌年3月31日までに届出をするときだけ書いてください）
夫の職業 事務職　妻の職業 無職

そ の
令和　年　月　日　　の方式により婚姻成立、　　作成の
婚姻証書添付。

出 人 署 名（※押印は任意）　夫 甲 野 次 郎 印　妻 乙 野 幸 子 印

件簿番号

（届出人の連絡先及び電話番号　070- 346 9544　consul@hg.mofa.go.jp　）

証人		
署名（※押印は任意）	Hans Alexander De Jong デヨング ハンス アレクサンダー 印	山田　浩二 印
生年月日	1987 年 12 月 31 日	昭和 61 年 11 月 25 日
住所	オランダ王国アムステルフェーン市 カイザーグラフト　1	オランダ王国アムステルダム市 ファイゼルストラート 300
本籍	オランダ王国 番地 番	東京都杉並区清水町一丁目 3 ~~番地~~ 番

日本国籍の方は**和暦**で、外国籍の方は**西暦**でご記入ください。

〈必要書類〉

必要通数

（1）**婚姻届出書**　2通

届出書は大使館領事窓口にございますが、こちらからダウンロードできます署名以外の部分は、パソコン等により入力・印刷したものでも可能ですが、必ずA3用紙に印刷してください。ご自身でA3用紙に印刷できない場合は、郵送で届出用紙を請求してください。

証人として成人2人（日本人でも外国籍者でも可能です。）の署名（外国籍者の場合は、署名の下部に、氏・名の順で、カタカナで氏名を明記する必要があります。）が必要となります。

（2）**双方の旅券**（郵送の場合は写し）　各1通

（3）**証人**（成人2名）の旅券等**身分証明**の写し　各1通

（注意事項）

- 届出書に記載のある「記入の注意」も参照ください。
- 本籍地等の確認のため、古いものや写しでも構いませんので、戸籍謄本をご用意されることをお勧めします。
- 鉛筆や消えるペンでは記入しないでください。
- 署名欄には戸籍通りに氏名を楷書体で書いてください。
- 「印」部分への押印は必要ありません。任意の押印は可能です。
- 文字の訂正や削除をする場合には、誤字に横二重線を引いて訂正してください。修正液、修正テープは使用できません。なお、訂正箇所への印鑑・拇印（右手親指）は任意となります。
- 各書類で「写し」と書かれていないものは、**原本**をご用意ください。